

母校の「いま」を体感

ホームカミンググデー 神田キャンパスで初開催

「ホームカミンググデー2022」が10月30日、対面形式としては3年ぶりに開かれた。今回は初めて神田キャンパスで実施。多くの校友が来場し、新たな時代に向けて進化を続ける母校の「いま」を体感した。

オープニングセレモニーで、松本健一理事長は、コロナ禍における学生への厚い支援に感謝の言葉を述べた。

佐々木重人学長、日高義博総長のあいさつに続き、校友会の桃野直樹会長は「ホームカミンググデーは、校友と母校がつながりを保つ大切な機会です」と語り、



あいさつする桃野校友会長

あり、開催できたことをうれしく思う。校友の活躍が大学を支えている。さらに専修大学を盛り上げていくため、皆さんに協力いただきたい」と語った。

メイン会場となった神田10号館の相馬永胤記念ホールでは、全学応援団によるリレー公演の後、国際コミュニケーション学部教員・在学生

によるトークライブを開催。また、異間奇席では、田ノ中星之助さん(平4文)が講談を、木村勝千代さん(平2文)が浪曲を披露した。

そのほか国際交流や図書館に関するイベントなどもにぎわった。在学生の案内で2020年から運用されている神田10号館を見学するツアーには大勢の校友が参加した。また、当日は「神田古本まつり」の期間中で、神田古書店連盟の協賛を受け、1階の屋外広場に古書店2店舗が出店された。



国際コミュニケーション学部によるトークライブ



多くの校友が来場した異間奇席。木村さんは浪曲『学校をつくらう』を演じた



在学生の案内で神田10号館を見学する校友ら



1階屋外広場では神田古本まつりの古書店が出店

今回は対面とオンラインのハイブリッドで実施。イベントの様子は配信され、全国の校友が視聴した。特設サイトで動画を公開しており、12月31日まで視聴できる。

特設サイトはこちらから
※12月31日まで

専大校友を訪ねて

ファンケル
ライブショッピング事業に従事
渡部 元太さん (令3商)

「学生の頃に想像していたよりも、地道な仕事が多いことに初めは驚いた」と言う社会人2年目の渡部さんは言葉が続く。「その積み重ねによってお客様や仕事相手との信頼関係は築かれる。目の前のことに真摯に取り組むことを心掛けている」。化粧品や健康食品を製造・販売するファンケルに勤務し、現在はデジタルサービスを推進する部署で、主にライブショッピング事業に携わっている。

ライブショッピングはライブ配信とネット通販を組み合わせた新しい販売形態。コメント機能を使って、視聴者と出演者がリアルタイムにやりとりできるので、実店舗ながらの買い物を楽しめる。渡部さんは、番組



「学生の頃に想像していたよりも、地道な仕事が多いことに初めは驚いた」と言う社会人2年目の渡部さんは言葉が続く。「その積み重ねによってお客様や仕事相手との信頼関係は築かれる。目の前のことに真摯に取り組むことを心掛けている」。化粧品や健康食品を製造・販売するファンケルに勤務し、現在はデジタルサービスを推進する部署で、主にライブショッピング事業に携わっている。

ライブショッピングはライブ配信とネット通販を組み合わせた新しい販売形態。コメント機能を使って、視聴者と出演者がリアルタイムにやりとりできるので、実店舗ながらの買い物を楽しめる。渡部さんは、番組

ファンケルライブショッピング事業に従事する渡部元太さん。ファンケルの店舗前で撮影。

文武両道で大きく成長 何事にも全力尽くす

本学サーフライフセーとビーチフラッグス(BF)で優勝を飾った。同大会で2種目制覇は史上初。2006、09年にかけて、国内最高峰の大会、全日本サーフライフセービング選手権のBSで4連覇する。

ライフセービング世界選手権大会マスターズ



校友・本多さん(平12商)
2種目で世界一



15分先のフラッグを先につかみ、優勝を決めた。左が本多さん

「学生時代に想像していたよりも、地道な仕事が多いことに初めは驚いた」と言う社会人2年目の渡部さんは言葉が続く。「その積み重ねによってお客様や仕事相手との信頼関係は築かれる。目の前のことに真摯に取り組むことを心掛けている」。化粧品や健康食品を製造・販売するファンケルに勤務し、現在はデジタルサービスを推進する部署で、主にライブショッピング事業に携わっている。

など、日本を代表するライフセーバーとして活躍する本多さん。17年からはマスターズに舞台を移し、競技を続けていく。日本代表チームのメンバーとして参加した04年の世界選手権イタリヤ大会では決勝(ベスト4)に進出したが、進路妨害の反則があったと判定され失格、涙をのんだ。今大会は因縁の地・イタリヤでの開催とあって、並々ならぬ決意で臨んだ。また失格になるのでは」という緊張感をほのめ、

「大会は因縁の地・イタリヤでの開催とあって、並々ならぬ決意で臨んだ。また失格になるのでは」という緊張感をほのめ、

熱戦！ 校友会ゴルフ大会



全額を専修大学に寄付した。プレー結果は次の通り。▽優勝 菅谷豊氏(昭53経済)▽シニア優勝 住田信治氏(昭35商経)▽ベストスコア賞 高嶋明氏(平5法)

堀川善弘氏(ほりかわ・よしひろ)昭58経済)信州ハム株式会社代表取締役社長に9月28日付で就任。本社 長野県・ハムソーセージの製造販売。

力を含める。専大ではマーケティングを専攻し、2年次生のときに、当時開講したばかりの新島裕基ゼミに入った。「新設のゼミなので『みんなで盛り上げよう』という気持ちが強く、グループワークは常に活気に満ちていたと振り返り、「大学でマーケティングを学んだ経験は、仕事をするうえで大きなアドバンテージになっている」と話す。

サッカー部に所属し、4年間、文武両道を貫いた。自慢の持久力を武器に1年次生ながらトッパチーム入りを果たすも、そこ

で実力者たちにもまれて挫折を味わった。一時は一番下のチームにまで落とされたが、「どんな環境でも向上心を高く持つ諦めたくない」と奮起し、日々努力を重ねた。18年間サッカーを続けてきたなかで、大学時代は選手として、人として最も大きく成長できた4年間だった。

「男女問わず美容や健康への意識が高まるなか、事業に大きな可能性を感じた」と、3年次にファンケルを志望。就職活動では部活の先輩に相談に乗ってもらうなど多くの人に支えられ、内定を手にする事ができた。「今度は私が後輩たちを支え、恩返しをしたい。OB訪問などを通じて気軽に頼ってほしい」と爽やかにほほ笑んだ。

校友会情報

愛知県支部総会
▽12月17日(土)18時
▽うな善(名古屋市)
※支部総会に関するお問い合わせは校友会事務局
03-3265-7579

校友新社長

堀川善弘氏(ほりかわ・よしひろ)昭58経済)信州ハム株式会社代表取締役社長に9月28日付で就任。本社 長野県・ハムソーセージの製造販売。